

# 編集 後記

●医療の世界は常に新しい情報を入手していかなければなりません。しかし文献をコピーしてまじめに読む機会がめっきり減ってしまいました。最近雑誌も実は斜め読みが多くて……（趣味の雑誌は穴があくほど読むのですが）。せめて耳学問くらいはと思ひ学会や研究会にはできるだけ出席するよう心がけていますが、頭に入る情報量と抜けていく情報量を比べるとどうも抜けていく方が多いようです。さらに追い打ちをかけるように近くのもの、細かいものが見えにくくなってきました。頭もカラダも老化し始めているようです（来年知命）。  
（川口博史）

●「舞台とは、ダンサーの人間性をさらけ出してしまうものだ。ただ格好つけている人、本当の意味で格好いい人、うけねらいだけの人……など、全てみえてしまう。」ロシアの一流バレエ団でただ1人の外人ソリストとして長年活躍している男性が、ある番組で話していた内容です。そこまで受け取ることができない、ただぼんやり楽しませてもらっているだけの平凡観客の1人ですが、こんなに真剣に人生を重ね合わせ踊りを究めている姿勢に感動しました。私たち医師にとっては舞台=日々の診察室ですね。まだまだ修行が足りない自分に反省……です。  
（河原由恵）

●本年度から編集委員に加えて頂きました。微力ながらがんばりますのでどうぞよろしくお願い致します。昨年一人娘が中学生になりました。朝の時間に余裕ができましたので何か有効に使いたいと奮起し、チャロの英語講座を聴くことにしました。チャロのかわいさや個性的な登場動物のおかげで話の展開が気になり私にしてはめずらしく最後まで聴講しました。今年も再放送していますので動物好きな先生にはお勧めです！とはいえ物語がハッピーエンドだったことですっかり満足し、それとともに私の英会話熱もさめ、最近娘を送り出したあともう一回こっそり眠る、いわゆる二度寝にはまっています。  
（高橋さなみ）

●1年以上も前に前歯の差し歯が外れてしまったのですが、歯科受診を面倒に思い、アロンアルファで固定を繰り返していました。先日、土台の歯が割れてしまい、恐る恐る歯科を受診してインプラント治療を始めました。インプラントとは、だめになった歯を除去して奥の骨に人工歯根（ボルトのようなもの）を埋め込んで、そこに人工歯をかぶせるものです。優れた治療ですが1本あたり約30万円かかります。早期治療の大切さを痛感しました。みなさん歯を大切に。  
（山本 修）

●この編集後記を書いている現在、国内の新型インフルエンザの感染陽性者が急激に増加していると連日報道されています。政府は、検疫による水際対策から国内の感染拡大防止対策に切り替えたようですが、これ以上悪化せず、この神皮が発刊される頃には沈静化していることを願っています。  
（小野秀貴）

●夏の発刊になりました。毎年、編集後記は1月に、年明けのフレッシュな気持ちで書いていたのですが、今回はお疲れモードで、提出が遅くなりました。こんな時に今週末は関西に出張。新型インフルをもらってきたら困るなあと、少し心配しています。皆さんも、気をつけて下さい。  
（浅井俊弥）

●私事で恐縮だが、昨年12月末に父を亡くし、実家の院長となり、何かとばたばたしているうち年度が変わったと思ったら、小田原医師会では理事を、神皮医会では編集・広報委員のお役目を仰せ付かった。何かと緊張の連続。おかげで悲しみに浸る暇など全くなく毎日を過ごしている。3年前に小田原に帰ってきたが、徐々に人形か抜け殻のようになっていく父を見るのが本当に嫌で、つまりその事実を受け入れられず、父とはついにほとんど話をしなかった。後悔するぞと自分で思いつつそうしたのだから仕方ないが、これを機に少し大人になれそうです（この歳になって）。委員会の足を引っ張らないよう気をつけて今後お手伝いさせていただきます。  
（大林寛人）

## 神 皮 〈第16号〉

2009年7月5日発行

発行 神奈川県皮膚科医会

発行人 栗原誠一

〒254-0043 平塚市紅谷町14-24

電話 0463-21-3031

制作 かまくら春秋社

■表紙のことば(写真:川口芳雄)

今年も亡父の写真を使わせていただきありがとうございます。父はみなとみらいや三溪園など横浜らしい風景や、富士山の撮影に熱中していました。これは平成12年6月の景色です。晩年になってもこうして夢中になれる趣味を持つことは決して悪いことではなく、むしろ楽しい人生だったのではないかと思えるようになってきました。  
（川口博史）

# 皮膚科医師サポートシステム

近年、医師不足は深刻な社会問題となっています。結婚や出産、育児、介護、健康面や労働条件の問題などで、働きたくても常勤や当直が困難なため、働けない場合が少なくありません  
「皮膚科医師サポートシステム」では働きたい皮膚科医師と求人者を必要としている病院・クリニックのマッチングを行い、皮膚科医師を支援しております

## 就業までのステップ ～ 求職医師・求人医療機関 ～

### ●Step 1

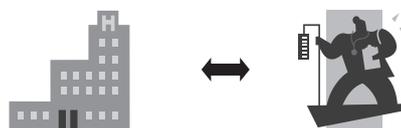
働きたい皮膚科医師と働いてほしい  
医療機関それぞれ登録をしていただきます  
登録用紙はファクスにてお送り下さい

F A X



### ●Step 2

それぞれの希望をマッチングし、条件の  
合う皮膚科医師と医療機関を紹介します



### ●Step 3

皮膚科医師と医療機関との間で面談を行い、最終的な合意がえられましたら  
「確認書」を交わし、採用決定となります



### ●費用

- ・ 登録時 無料
- ・ 成立時 手数料として初回月のみいただきます

皮膚科医師 無料

医療機関 1ヵ月の支払い給与額の20%

なお、一般的な有料職業紹介業の仲介料は、毎月、給与の30%～50%が相場となっております

皮膚科医師サポートシステムでは医師の支援が目的であるため、事務手数料を初回月のみ徴収しております

職業安定法第32条の3の規定により、手数料は求人者のみの負担とされています

## ● ご登録・お問い合わせ先 ●

〒221-0825

横浜市神奈川区反町4-27-14-5F

TEL 045 (290) 3912      FAX 045 (322) 1112

・ ・ ・ 皮膚科医師サポートシステム 担当 加藤 ・ ・ ・

「皮膚科医師サポートシステム」では働きたい皮膚科医師と働いてほしい  
医療機関のマッチングを行い、ご希望にあった人材・職場をご紹介します